



文政七甲申

心羽酒田金山下

此君亭

歳祝

教生石 福寿州々や帝も清心川より 其蝶
 喜蔭邦 若くはる涙天はいまも川鳥 梧風
 田村 山松やま湯のくけおそり 花笑
 是畧 菊葉の鳥帽子也神の法園風 梧舟
 釋々 室川や子侍う語も富貴乃乃 司本
 全 老せぬや面をさすもいりみみ 履原
 熊坂 年毎やる花と造る華初 高風
 言ゆ 豊うたるををそしむしお 相志

祝の番組と志すべし
 お好より正しく一葉旦の組衣
 とかきりくわい思ひがらき一連を
 あらうか脱りくても子孫を
 とまるといひりわん是かんは難の
 冥助は叶えくやと尚好字を
 希ふのこ

この祭とや一初くも新初も 文符

跋

祝くの声も

よみ末の妻とわ

千種坊

